

令和 5 年度 下 半 期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	東児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市大洞桜台1丁目33番地2		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募		
料金制	☐ 使用料 ☐ 利用料金 ☒ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,312,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄骨造平屋建 ◇敷地面積:1,659.48㎡ ◇延床面積:315.23㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児集会室、図書学習室、静養室、事務室、 駐車場(センター西隣駐車場、岐阜市大洞桜台市営住宅駐車場)		

●利用状況

		R5下半期	R5上半期	R4下半期	R4上半期	R3下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	3,731	2,975	1,766	2,080	1,920
	移動児童館利用者数	164	124	124	59	53
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※6(6)	※5(3)	※4(3)	※2(0)	※2(2)
	開館日数(単位:日)	151	155	151	155	151

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①適正に実施しています。 ②常勤職員3名、うち児童厚生員を2名配置しました ③毎月児童用、幼児用のおたよりを発行し、担当校区の小学校を通し、全児童へ配布しました。また、岩、芥見、芥見東、芥見南の各自治会へ回覧、公民館、コミセン、北保健センターに配布しました。 ツナグテに幼児向けおたよりと施設紹介用のチラシを配置していただきました。 HPは、岐阜市社会福祉事業団の統一した形式とし、緊急案内、イベントの募集などで活用しました。 インスタグラムを始めました。行事やクラブ等の様子をあげました。 ④ご意見箱を設置し、利用者からのご意見・ご要望をいただける体制としました。また、苦情解決の仕組み・苦情の申出先を館内に掲示することで、苦情に対し適切に対応できる体制としました。 児童・保護者を対象に、アンケートを下期に1回実施しました。 ⑤仕様書、事業計画書に基づき事業を実施しました。
自主事業 提案事業		
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①管理者点検マニュアルに基づき、保守点検を適切に行いました。 ②施設の清掃は、職員による日常清掃と就労継続支援B型で事業所による週2回の清掃を実施しました。 快適で安全に施設を利用していただくため、エアコンの温度管理と換気に気を付けました。 施設敷地内の落ち葉清掃や草取り、施設周辺の清掃に努めました。 ③部屋の室温に気配りしつつ、使用していない部屋のエアコンや電気を切り、節電を実施しました。牛乳パックやトイレトーパーの芯などの廃材を工作や遊びに活用しました。 ④専門業者による野外遊具の点検。月1回の職員による施設の安全点検、月2回のAED器具の点検。毎日の清掃や整理整頓の際、玩具、備品、施設の維持管理に努めました。

施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①緊急性のあるものは、岐阜市社会福祉事業団及び岐阜市に即時報告して判断を仰ぎました。 ②故障したおもちゃなどは、おもちゃ病院（ボランティア団体）の開催日に修繕していただきました。軽修繕は、職員で対応しました。
危機管理 法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③、岐阜市社会福祉事業団個人情報保護規程、災害対策マニュアル、児童福祉法関係法令を遵守し適切に実施しました。災害や事故などが発生した場合には、岐阜市社会福祉事業団事務局並びに岐阜市へ迅速に報告する体制を構築しました。来館者に影響のある施設修繕については、すぐにホームページの緊急案内にてお知らせし、利用時にもお伝えしました。個人情報が記載された用紙は、シュレッダーにより漏洩しないよう処分しました。

●利用者評価

利用者アンケートの 実施状況	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 期間: 令和5年12月1日～令和6年2月10日 回答者数: 53人 <小・中・高校生用アンケート> 期間: 令和5年12月1日～令和6年1月30日 回答者数: 60人(小学: 1年4人、2年4人、3年12人、4年9人、5年10人、6年11人) (中学: 1年4人、2年4人、3年1人)(高校: 1年1人、2年0人、3年0人)	
利用者アンケートの 実施結果	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 【校区】 芥見(19人)、芥見東(13人)、岩(3人)、藍川(3人)、日野(3人)、三輪南(2人)、その他市内(2人)、その他市外(8人) 【年齢】 10代(0%)、20代(15%)、30代(59%)、40代(19%)、50代以上(7%) 【利用頻度】 初めて(17%)、ほぼ毎日(0%)、週2～3回(2%)、週1回(15%)、2週に1回(11%)、月1回(32%)、その他(23%) 【来館相手】 子(76%)、孫(2%)、友人(4%)、その他(5%)、無回答(13%) 【子・孫の年齢】 0歳(9%)、1歳(27%)、2歳(18%)、3歳以上(28%)、1年生(2%)、2年生(7%)、3年生(2%)、4年生(3%)、5年生(0%)、6年生(2%)、中1(2%) 【来館方法】 徒歩(1%)、自転車(1%)、自家用車(98%)、公共交通機関(0%) 【何で知った】 ホームページ(34%)、広報紙・チラシ(6%)、学校(2%)、保育所・幼稚園(0%)、知人・友人(32%)、ぎふし子育て応援アプリ(2%)、ソーシャルメディア(4%)、その他(20%) 【評価】 (あいさつ) 満足(89%)、ほぼ満足(11%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (言葉づかい) 満足(91%)、ほぼ満足(9%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用者対応) 満足(91%)、ほぼ満足(6%)、普通(3%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用しやすさ) 満足(81%)、ほぼ満足(17%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%) (整理整頓) 満足(89%)、ほぼ満足(11%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (清潔感) 満足(85%)、ほぼ満足(11%)、普通(4%)、やや不満(0%)、不満(0%) (換気) 満足(83%)、ほぼ満足(15%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%) <小・中・高校生用アンケート> 【学校名】 芥見東小(43人)、藍川東中(7人)、芥見小(4人)、その他市内(4人)、その他市外(2人) 【学年】 小学: 1年(7%)、2年(7%)、3年(20%)、4年(15%)、5年(17%)、6年(18%) 中学: 1年(7%)、2年(7%)、3年(1%) 高校: 1年(1%)、2年(0%)、3年(0%) 【利用頻度】 初めて(2%)、毎日(3%)、週4・5回(2%)、週2・3回(15%)、週1回(28%)、その他(48%)、無回答(2%) 【来館相手】 ひとり(15%)、友人(65%)、兄弟姉妹(14%)、父母(2%)、祖父母(2%)、親戚(0%)、無回答(2%) 【来館方法】 徒歩(43%)、自転車(23%)、自家用車(32%)、バス・電車(0%)、その他(2%) 【好きな遊び】 ドッジボール(22%)、バドミントン(16%)、ボードゲーム(12%)、カロム(11%)、パズル(11%)、卓球(6%)、ぬりえ(5%)、その他(17%)	

利用者からの
要望・苦情と
対処・改善

<保護者>

・家にないシルバニアファミリーのおもちゃのアイテム？が沢山揃っていて、とても嬉しそうでした！一輪車があるのもっと嬉しいですね。また来ます！
→楽しく遊んでいただけて良かったです。一輪車については、外で鬼ごっこをする子が多く、安全面から今のところ考えておりません。
・おもちゃはじゅうじつしているが、新しいのもあっても良いのでは
→いつも大切におもちゃを使ってくださりありがとうございます。どんなおもちゃがあったらよいか検討していきます。
・べったんタイムが丁度お昼寝に重なるので、たまーに午前にあったらうれしいです。
→検討します。

<児童>

・本をふやしてほしい
→読んでみたい本があったら教えてくださいね。
・じむ室に入りたい
→事務室には大切な物が置いてあります。遊ぶ部屋としては入ることはできませんが、話したいことや相談があるときは、事務室でゆっくり話を聞きます。
・せいげんやめて(おり紙、白い紙)
→折り紙や白い紙を大切に使うように決めてあります。作りたいものがある、どうしてももっと必要なときは先生に言ってください。
・定休日があるところ
→児童館のお休みは岐阜市で決められています。開館日にたくさん遊びに来てくださいね。
・でんきにボールがあたること
→上に向けて投げたり、思い切りボールを蹴ると当たってしまう時がありますね。気を付けて遊んでください。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	S	S	S
		区分評価				S
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業（行事）等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策（窓口対応、プロモーション、設備の整備など）	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	SS	S	S
		⑦施設の効用（設置目的）を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	A	A	A
		区分評価				A
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施（リサイクルやリユース、節水・節電など）	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ（採用予定者も含む）の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員（施設が児童センターの場合は体育指導員）を1人以上配置（このうち最低1人は常勤職員とすること）	A	A	A
		⑪スタッフ（採用予定者も含む）の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	A	A	A
		⑫スタッフ（採用予定者も含む）の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	S	S
		⑬リスクへの対応方策（利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど）	・危機管理（リスク）や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成（一部業務の再委託先）、地元住民の活用（雇用又はボランティア等）	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加（地元行事への参加）又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み
に対する評価

□広報で適切な情報提供・広報活動の実施(公平性・透明性②)

- ・インスタグラムによる広報宣伝活動

今年度から新たにタブレット端末を活用したインスタグラムを始めました。このインスタグラムを導入したことにより、多様な手段で幅広い年齢層に、スピーディーに情報を提供できることとなりました。下半期には、動画や音楽などを活用し、より親しみやすいインスタグラムを提供するための研修会を2回開催しました。

- ・全児童館・児童センターの案内をおたよりに掲載

毎月発行している乳幼児と保護者向けおたよりの裏面に、岐阜市内すべての児童館・児童センターの所在地を地図上で記載しました。これにより、普段利用している児童館以外の児童館を知っていただくきっかけとなりました。

- ・「ツナグテ」利用者へのPR

毎月発行するおたよりと東児童センターの利用案内を「ツナグテ」のチラシ受けに置いていただき、「ツナグテ」の利用者にも東児童センターのPRを行うことができました。

- ・回覧による情報提供

毎月発行している小学生向けおたより「げんき」を岩・芥見・芥見東小の全児童に配布の他、乳幼児保護者向けおたより「えがお」とともに、岩・芥見・芥見東・芥見南自治会連合会を通じて、回覧をしています。地域住民から、「回覧が回ってくる頃には、参加したい行事が終わってしまっている時があるので、何か良い方法があればお願いしたい」という声をいただきました。少しでも早い時期に見てもらえる方策を考え、毎月25日頃にホームページとインスタグラムで見えていただけるようにし、おたよりにもその旨を記載することになりました。ホームページやインスタグラムへの投稿により、地域の方以外にも見えていただけるようになりました。

- ・地域の施設や店舗への配布

毎月のおたよりは、各地区の公民館、東部コミュニティセンター、北保健センターに配布しています。また、地元のスーパー、カフェ、こども園にも掲示・設置をしていただいています。

- ・来館者へのPR

幼児クラブや自由来館の保護者に、毎月の乳幼児向けおたよりを配布し、iPadを使って活動の様子を紹介しながらPRに努めました。活動の様子が一目でわかるので、行事に興味をもたれ参加してくださる方が増えました。

□既存業務の工夫と新規事業の実施(効果性③)

業務改善や工夫

- ・サイエンスショーの開催

令和4年度から年2回、各児童館で開催しているサイエンスショーの内容について、これまでの開催経験を踏まえ、「子ども参加型で、実験・体験・驚きを感じられるもの」、「華やかさ・ワクワク感が感じられるもの」など各施設からの要望に沿った内容のショーを開催し、子どもたちが驚き・どよめき、科学に対する興味・関心を高めることができました。参加した子どもたちは、目の前の実験に驚いたり、ワクワクしながら体験させてもらうことができました。

- ・フェスティバル2024の開催

子どもと地域の方との交流、親子のつながりを深める行事としてフェスティバル2024を開催しました。フェスティバルでは、5つの遊びのコーナーと母親クラブによるバザーを行いました。5つの遊びのコーナーは、子どもたちから意見を集めて決めました。的当てやビンゴ、ドッジボールなど、様々な意見が出たので、できるだけ反映できるよう、中学生らと一緒に決めていきました。そして、フェスティバルの開催まで3回の準備会を行いました。フェスティバルを楽しみに迎えてくれるよう、看板書きやコーナー準備は子どもたちの自由な発想を認めながら行いました。また、以前製作し保管していた道具(たこ焼きビンゴ、お菓子釣り用の釣り竿)や岐阜県レクリエーション協会より借用した道具「ディスクッター9(的当て)」と「フリスビー」を、遊びのコーナーに活用しました。的当てやたこ焼きビンゴには、常に子どもが並び、8回、9回やる子もいたほど大盛況でした。

- ・0歳児の広場の活動内容

月に1回開催している0歳児の広場は、ふれあい遊びを中心に行っていましたが、参加者が1、2組になることが多く、どうしても来ていただくことができるかが課題でした。ふれあい遊びという漠然とした内容ではなく、何をするのか分かりやすくできれば、参加しやすくなり、ご紹介もしやすくなるのではと考えました。そこで今期は、手形のハロウィン製作やクリスマスフォトスポット、お子さんの写真でおひな様製作など、季節の活動を取り入れました。その結果、初めて参加される方やご家族での参加がありました。記念に残る手形やフォトスポットでの撮影は好評でした。

- ・単発幼児クラブ活動

単発の幼児クラブで、利用者の希望を取り入れた活動を行いました。登録制幼児クラブでは申し込みの際、やってほしい遊びや活動を記入していただき、できるだけ希望に沿うように活動をしているため、単発の幼児クラブも同様に取り入れたところ、12月の「簡単おやつ作り」は8組、2月の「Let's Dance!」は7組の親子が参加していただきました。

- ・幼児室のおもちゃを整頓し、棚に写真を貼ることで、初めて来館された方も片付けを迷わずしていただけるようになりました。

新規事業(行事)等の実施

- ・「ブラレールで遊ぼう」の開催

幼児の保護者から「息子と思い切りブラレールがやってみたい」という声をお聞きました。児童センターにあるブラレールは、たくさんつなげるだけの数がなかったため、運営委員会(上半期)で相談したところ、地域の方にご協力いただけるよう自治会の回覧にて発信していただくことができました。その結果、ご家庭で大切に使われていたブラレールをたくさん寄贈していただき、12月に1回目を開催することができました。ブラレールは、普段も幼児室で遊ぶことはできますが、部屋のスペースを考えると、たくさん出しておくことができないので、「ブラレールで遊ぼう」の日は、遊戯室で開催し、広いスペースで遊んでいただけるようにしました。たくさんのレールや車両、立体コース用のパーツなどを見て、子どもも大人もワクワクしていました。そして、保護者同士相談したり、子どもたちと話をしながら、楽しくコースを作られました。子どもたちは、お気に入りの電車や新幹線を走らせ、追いかけたりじっと見つめたり、時々お友だちとの取り合いを経験しながら楽しく遊ぶ姿が見られました。今年度は3回の開催でしたが、参加した方がお友だちを誘ってくださったことや、来館者にインスタグラムで活動の様子をご紹介した結果、多くの方に参加していただくことができました。(12月:9名、2月:12名、3月:20名)

- ・わくわくおはなし会の開催

親子で絵本を読むことは、楽しさだけでなく、親子のふれあいや言葉を学ぶなど子どもの成長にとっても大切だと考えています。そのため、館内に「絵本コーナー」を設置し、親子で読んでほしい本や子どもが興味を持ちそうな本を置き、来館時に読んでいただけるようにしています。更に、11月からは、単発の幼児クラブの活動日のうち月に一回を「わくわくおはなし会」に変更し、季節や年齢に合わせて読み聞かせを行いました。その結果、単発の幼児クラブを行っていた時より参加してくださる方が増えました。(11月:9名、12月:6名、1月:7名、2月:22名)

□利用促進や利用者増に繋がる方策の実施(効果性⑥)

- ・総利用者数の増加

既存業務の改善や工夫、新規事業、広報活動の実施などによりR4下半期総利用者数は1,431人、R5下半期総利用者数は3,722人で、前年度と比較して160%となりました。

- ・幼児クラブ申し込み連携

登録制幼児クラブで定員を上回る応募があり、残念ながら抽選に漏れてしまった方に対して、他館の幼児クラブに空きがある場合、幼児クラブを紹介できる体制を構築しました。

□地元への諸団体との連携、交流(貢献性④)

	・フェスティバル2024の開催 各校区の民生児童委員や主任児童委員、地元の中中学生など20名に協力をいただき、5つのコーナーを担当していただくことができました。大勢の方にお手伝いいただけたことで、子どもたちが安全に楽しむことができました。また、中学生ボランティアの母親が来館され、我が子の頑張っている姿を見て、「こういう機会があつてありがたい」と大変喜ばれました。更に、母親クラブによるバザーは、子どもだけでなく保護者も楽しみにされており、給食ナフキンや髪飾りなど、親子や友だち同士で嬉しそうに買い物する姿が見られました。 (フェスティバルの総参加人数 107名) ・岐阜中消防署東分署へ見学 登録制幼児クラブの活動の一環として、岐阜中消防署東分署へ見学に行きました。児童センターにあるミニカーの中でも、消防車や救急車は人気ですが、本物の大きな車両を近くで見た子どもたちはかなり緊張し、なかなか近寄ることができない子もいました。しかし、消防士さんの優しさや笑顔にだんだんと緊張がほぐれ、消防車や救急車に乗ったり、消防服を着せていただいたり、署内を見学させてもらったりと、普段できない経験をさせていただくことができました。 子ども会、親子ふれあい教室への協力 それぞれの団体から、クリスマス会や6年生を送る会での製作や遊びの依頼がありました。できるだけ希望に沿い、会を楽しんでいただけるよう準備しました。移動児童館として出向きました。 ・ドリームシアター職員による「大道芸にチャレンジ」を開催 皿回しやアメリカンクラッカーなど、児童センターにはない道具を持ってきていただき、遊び方を教えていただきました。初めて遊ぶ物でも、遊び方のコツを丁寧に教えていただけたので、成功体験ができどの子も嬉しそうでした。 ・「親子でリズム」への協力 岩、芥見、芥見東、芥見南主任児童委員、中保健センター、東児童センター主催の子育て支援活動「親子でリズム」で、10月に「ミニ運動会」を担当しました。また、引き続き協力体制を築いていけるよう、来年度の活動計画会議に参加しました。 ・「子育て支援会議」の参加 保健師、主任児童委員をはじめ、子育て支援に携わる施設の代表が集まり、東部地区の出生数の現状や最近の出産や育児に関することについて情報交流しました。 芥見東自治会だよりへの協力 ・芥見東自治会より、地元公民館と合同で開催した講座についての原稿依頼がありましたので、協力しました。 □地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(貢献性⑮) ・芥見東公民館文化祭に参加 芥見東公民館の文化祭に、登録制幼児クラブと母親クラブ「彩の会」の作品を出展させていただきました。公民館からは、普段来られない若い世代のご家族が来てくださったとお聞きしました。足を運ばれたご家族からは、我が子の作品だけでなく、地域の方が作られた作品や、地元の学校の児童や生徒の作品も見ることができてよかったとお聞きしました。また地域の方には、東児童センターの活動を知っていただく機会となりました。 ・岐阜版アダプトプログラムへの参加 職員が児童館周辺道路の清掃活動を定期的実施する、岐阜版アダプトプログラムに参加しています。 ・子ども110番の家の登録 児童センター近くで遊んでいた男児がけがをした為、友だちと助けを求めてきました。ケガの状態を確認後、応急処置と保護者へ連絡し引き渡しました。 地元の団体・住民との協働事業等の実施 ・公民館との合同講座「親子でバランスボール！」を開催 若い世代の方にも公民館を利用していただきたいとの相談を受け、合同講座を開催しました。バランスボールインストラクターの資格をもつ児童センターを利用する保護者に講師を依頼しました。参加者の中には、公民館の場所を知らない、場所は分かるが入ったことはないという方もおられ、この活動を通して知っていただくことができました。また、公民館のじゅうたん敷きの部屋で開催したので、保護者が安心してお子さんを子ども用の小さなバランスボールに座らせたり、遊ばせたりすることができたようです。そして、子どもの目に入る場所におもちゃがないことで、他に気を取られることが少なく、お母さんの側でポーズを真似しながら、一緒に楽しむ姿がみられました。公民館におられた方は、子どもたちの訪れに、心が和むと喜ばれました。
前回までの意見を踏まえた取組み状況	□Instagramを活用したり、児童館のチラシを作成し、近隣のスーパーやカフェに設置するなど、積極的に広報活動を行っている。 ・来館時に児童センターのおたよりをお渡しし、Instagramを使って活動を紹介しました。 ・地元にある店舗にチラシの掲示を依頼しました。こども園にチラシの掲示をしていただきました。 □児童館まつりを開催したり、申込み不要で手形足形を取ることができるようにしたりするなど、業務改善や新規事業の実施に努めている。 ・フェスティバル2024の開催で大勢の方に参加していただくことができました。 ・申込不要の手形足形は継続して行っています。 ・新規事業として「ブラレールで遊ぼう」や「わくわくおはなし会」を実施しました。 □地元住民にボランティアで定期的に講師を依頼したり、地元主催の夏祭りに児童と参加したりするなど、地域と連携して事業を実施したり、事業に参加している。 ・引き続き毎月1回、チェスのボランティア講師として来ていただいています。チェスをするのが楽しみで来てくれる子もいますし、一生懸命ルールを覚えている子もいます。芥見東公民館で開催された文化祭に、幼児クラブと母親クラブ作品を出展しました。また、合同講座として、未就園児親子を対象とした「バランスボール」を開催しました。
今後の取組み	・引き続き、安全で安心して利用していただけるよう、アットホームな施設を目指します。 ・利用者のニーズの把握に努め、事業や運営に取り入れていきます。 ・子どもたちの個性を大切にしながら、遊びの提供、気軽に話せる環境を整えます。 ・児童を対象とした食育活動に取り組みます。

●所管課の意見

○地域交流の行事としてフェスティバルの開催や、地域からの寄贈で集めたプラレールで遊ぶイベントなど、業務改善や新規事業に積極的に取り組んでいる。

○初めての来館者への広報活動を工夫したり、利用者の意見を取り入れながら事業を実施することで、前年に比べ利用者数が大きく増加している。

○地元の諸団体と連携して行事を開催したり、公民館文化祭への参加や公民館と合同講座を開催するなど、広報活動や交流事業に取り組んでいる。

●指定管理者評価委員会の意見

所管課の意見のとおり、適切に管理運営されている。

児童館は子どもの居場所としての役割があることから、アンケート等子どもの意見を大切にし、今後も運営に努めて欲しい。

フェスティバルの開催等積極的に取り組んでいる点が評価できる。